

漁業者による夏休み水産教室

7月2日に南伊豆町中木海岸で、伊豆漁協南伊豆支所の青年部による水産教室が地元NPO団体と共催で行われました。町内の小学4～6年生57名と保護者10名が参加しました。青年部の指導によるイカ干物づくりを体験した後、漁船で中木港から秘境と呼ばれるヒリゾ浜まで渡り、磯観察、磯生物の味噌汁づくりを行いました。磯ではみんな腰まで海につかり熱心に生物を採取しました。ウニやヤドカリ類が多く見られましたが、中には大きなタコやトコブシを見つける児童もいて歓声がやみませんでした。



また、7月30日には東伊豆町稲取の志津摩海岸で、伊豆漁協稲取支所の主催による磯の体験学習が行われました。町内の小学5,6年生12名と中学生11名の計23名が参加しました。稲取地区の伝統漁法である素潜りを、子供たちに継承することで、将来の漁業を担う存在になってもらうことを願い、漁業者の指導の下、素潜りや磯生物の観察を行いました。当日は抜けるほどの晴天で海の透明度も良好で絶好のコンディションでした。参加した児童、生徒にとって大変貴重な経験になったとおもいます。



(吉川康夫)